

## 令和6年8月定例教育委員会

### ○ 開催概要

○ 開催日時	令和6年8月26日（月）13時00分～14時02分		
○ 開催場所	県庁22階 教育委員室		
○ 出席者 （委員等）	教育長	柳 橋	常 喜
	教育長職務代理者	中 庭	陽 子
	委 員	中 田	俊 之
	委 員	市 原	健 一
	委 員	庄 司	一 子
	委 員	富 田	敬 子
	委 員	幡 谷	史 朗
（事務局職員）	総務企画部長	川和田	由紀子
	学校教育部長	庄 司	一 裕
	総務課長	宮 崎	薫
	教育企画室長	富 樫	仁 彰
	財務課長	山 本	晃 裕
	生涯学習課長	中 村	珠 美
	文化課課長補佐（総括）	鈴 木	浩 子
	私学振興室長	平 賀	靖
	教育改革課長	阿 部	将 昭
	義務教育課長	若 松	裕 一
	高校教育課長	深 澤	美紀代
	特別支援教育課長	仲 野	祐 二
	保健体育課長	高 橋	清

### ○ 議 案

議 題	案 件 名	担 当 課	公開・ 非公開の別
1 報告			
1	令和7年度採用茨城県公立学校教員選考試験の結果について	教育改革課	公 開
2 議案			
第20号議案	茨城県県立特別支援学校の指定に関する規程の一部改正について	特別支援教育課	公 開
第21号議案	令和6年度（令和5年度対象）教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について	総務課	非公開
第22号議案	茨城県県立学校設置条例の一部を改正する条例案に対する意見について	高校教育課	非公開
第23号議案	令和7年度使用県立高等学校、県立中等教育学校、県立中学校及び県立特別支援学校教科用図書採択について	高校教育課 ・特別支援教育課	非公開

第 24 号議案	教育委員会における人事について	総務課	非公開
----------	-----------------	-----	-----

※非公開の議案等については、会議録は公開されません。

## ○ 会議録

### 1 開 会

教育長による開会の宣言後、非公開審議項目について提案し、各委員から了承された。

### 2 議 事

#### (1) 公開審議

発 言 者	発 言 内 容
<b>【報告1】</b> 令和7年度採用茨城県公立学校教員選考試験の結果について	
教育改革課長	資料①に基づき説明 (主な質疑・意見等)
市 原 委 員	<p>志願者数の減少といった傾向は茨城県に限ったことではなく、全国どこでも起こってるわけですよ。当然、多くの人に教員になりたい、教員が魅力ある仕事だと思ってもらうことはすごく重要だと思います。ただ、倍率を上げることだけに注意がいつている。要は、少ない人数だとしても、志の高い人に入ってもらって、入った後に教師としての資質やスキルを磨くということができればいいんじゃないかと思うんですね。</p> <p>倍率を増やすことも非常に大事だと思うのですが、いっぱい来たからといって必ずしもいい先生が誕生するわけではないと思うので、入った後の教員の資質の向上にもっと力を入れていただくようなことを考えていただければと思います。</p>
教育改革課長	<p>入った後につきましても、随時、色々研修をさせていただいておりますが、さらに充実強化をしてまいりたいと思います。</p> <p>それから、事務作業等により多忙でなかなか子供たちと向き合う時間がないというような声もありますので、引き続き働き方改革を含めまして、よりその教員として本来やるべき仕事に注力できるような環境づくりにも努めて参りたいと思います。</p>
幡 谷 委 員	<p>市原委員と話がかぶるかもしれませんが、門戸を広げるということと同時に、採用した後の先生方の質の向上を両方、両輪で回さないといけないと思います。バーをある意味下げて、門戸を広げていっぱい来ていただいたとすると、質の問題が出てきます。</p> <p>採用になった方は、4月からそれぞれの学校へ配属されるのでしょうか。民間企業であれば、様々な会社があって、いきなり現場に出すのはどうかということもあり、何か困ったことがあったらあの人に相談しようみたいな人間関係を本部でしっかり作った上で、現場に出していくという会社もありますし、本来であればもう少し、例えば、2、3か月集中して、あまり責任がない状態で、幅広く何かを経験していただくという方法もあるのではないのでしょうか。</p> <p>先生たちの質ややる気を継続していただかないと困るわけですから、若いときに自身のネットワークをどうやって築くのか、そんなことも併せてお考えいただければありがたいと思います。</p>
教育改革課長	入ってからすぐに担任を持つこともあるんですけども、初任者向けの研修で、例えばそういったネットワークの構築であるとか、あとは各学

	校でもそのいわゆる指導係とか教育係といった先生をきちんと配置して、速やかに学校の環境に慣れていただくよう、そういったところにも引き続き努めていきたいと思えます。
富田委員	採用はいろいろな段階があると思えますが、基本的に絶対評価で行っているのか、相対評価で行っているのか教えていただきたいと存じます。 競争率が低くなり、応募者が少なくなると、どうしてもバーを低くする傾向があると思えますが、今回の採用試験に関して、昨年度の水準を維持した形でこうなったのか、それとも、昨今の志願者減少を踏まえてある程度の考慮があったのか、教えていただければと思えます。
教育改革課長	1次試験は筆記試験ですので、点数順に並べた形になります。それで、一定のところ、いわゆるラインを引かせていただいて2次試験の方に進んでいただくこととしております。 2次試験は、今年から模擬授業も含めまして、個人面談で一人一人の例えば人柄であるとかに加えて、模擬授業をとおして実践能力やそういったものをきちんと見極めて、判断をしております。 いわゆる絶対評価とさせていただきます。
中庭委員	1次試験における教職専門の廃止に関して、教員になるためには、様々な法令もありますし、そういった知識も必要なわけですけれども、あえて廃止して、受験者の負担軽減を図るといった目的が掲げられているわけですけれども、教職専門科目を軽視しているわけではなく、これも大事であり、採用されてから十分に研修しますよとか、そういった前向きなメッセージが欲しいと思えます。 単に負担軽減のために科目を減らしましたという意味では、志願者を増やすことだけが目的のように映ってしまうと思えますので、その当たり、採用試験を茨城県教育委員会ではどのように考えているか、教職専門科目を軽視しているのではなく、あえて試験から外した目的と、その後の研修も含めてしっかりと受験者にわかってもらうような、メッセージを出していただければと思えます。
教育改革課長	大学4年生だけではなく、民間企業の方とか、いろいろな方に参入していただきたいという思いがあります。 教職専門の廃止ですけれども、教員免許の取得に当たり、大学の教職課程で、必ずこの教職専門を履修してるとというのがまず前提にあります。ですので、直ちにその教員の質の低下に繋がるというものではないと認識しております。 実際、これまでの特別選考、例えば社会人経験者であるとか、教職大学院は、1次試験で教職の免除をしておりますが、必ずしも教員の質の低下には繋がっていないと認識しております。 ただし、委員ご指摘のとおり、教職専門廃止ということになるので、採用前研修も含めて、教職専門につきましても、研修の充実強化を図っていきたくと思えます。
中田委員	1都9県教育委員会の委員の皆さんと意見交換する機会があつて、各県が倍率を上げるためにやっていることを聞くんですけども、結局同じパイを奪い合ってるだけというのか、結局、教員になりたい方を他県から奪うみたいところがあるような気がしてなりません。

	<p>難しいことは百も承知ですけれども、今後は関東全域で何か対策を練るなど考えたほうがいいんじゃないかなと思います。</p> <p>私は県境の古河にいて、水戸には行きづらいとか、日立はもう他の県のように感じるといったところもあります。関東全体で何か考えるような意見は何か出ないのでしょうか。</p> <p>将来的に県を越えた取組ができれば面白いのかなという気がしながら1都9県教育委員会の委員のお話を聞かせていただきました。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
教育改革課長	<p>私は個人的に、奪い合いになってると実感をしております。</p> <p>他県の同じ立場が集まる会合のときに、各県でやっても、もっと広域的に教員確保について取り組んだほうがいいんじゃないかというお話をさせていただいております。ただし、具体的に今何をやるといった想定まではないんですけれども、そういった気持ちでおります。</p> <p>少なくとも茨城県におきましては、教員になりたいという若い世代を増やしていこうということで、例えばセミナーに中高生に参加してもらうなど、そういった取組を始めたいと思っております。</p>
審議結果	承認

<b>【第20議案】</b>	
<b>茨城県県立特別支援学校の指定に関する規程の一部改正について</b>	
特別支援教育課長	資料①に基づき説明
(主な質疑・意見等)	
市原委員	土浦特別支援学校に関しては、圧倒的に対象者が増えているということでしょうか。知的障害と身体障害の両方の生徒がいるんですか。
特別支援教育課長	土浦特別支援学校は知的障害特別支援学校で、重複の生徒も受け入れております。つくば特別支援学校のように知肢併設型ではございません。児童生徒数は年々増加傾向でございます。
市原委員	<p>以前、土浦の児童生徒が非常に増えて、つくば特別支援学校ができたわけですね。新しく特別支援学校を作っても、また増えているというのは、絶対数が増えているだけではなく、対象になる障害が増えているのかなという気がします。</p> <p>例えば、通学するお子さん方の障害の程度の動向から、これからどういってお子さんが入学してくるのかということ、もう少し深く分析してみたらいかがかなと思って質問させていただきました。</p>
特別支援教育課長	<p>特別支援学校につきまして、盲学校・聾学校は数が減っております。肢体不自由も横ばいから減少にあるのですが、知的障害については、特別支援学校に限らず、小中学校の特別支援学級も含めて対象が増えているというのが事実でございます。全国的な傾向でございます。</p> <p>インクルーシブ教育などいろいろありますので、特別支援学校がいいのか、小中学校がいいのかということも含めて、しっかり分析していければと思います。</p>
幡谷委員	<p>かすみがうら市にお住まいの方が石岡に通うということですが、これは保護者の皆さんには、周知徹底されているのでしょうか。</p> <p>また、かすみがうら市は広域合併ですから、土浦市に近いところもあ</p>

	れば、石岡市に近いところもあると思います。石岡特別支援学校の、つくば市の場合には旧筑波町の区域に限るといったそういう配慮は考えられたのでしょうか。
特別支援教育課長	かすみがうら市につきましては、基本的に全域が石岡特別支援学校の対象となります。委員のおっしゃるとおり、かすみがうら市には、旧千代田町と旧霞ヶ浦町がございます。現在、全体で約60名の児童生徒がいらっしゃるしまして、その方を土浦から石岡に変更したときに、通学時間も10分弱ぐらいの差しかないということもございましたので、かすみがうら市の方を石岡にという形にしております。 ただし、強制ではございません。5月のPTA総会や5月中旬の個別面談を行い、また、石岡特別支援学校も新しく、すごく素晴らしいの学校でございますので、学校の施設見学や授業参観も年4回行っております。その上で、原則は全学区になりますけれども、個別の相談を行った上で決めていくこととなります。
幡谷委員	そうすると、今通われてる保護者や生徒の皆さんに選択肢があって、一番最適なものを選ぶということでしょうか。
特別支援教育課長	新入生は、初めから石岡特別支援学校に行ってもらうこととなります。今在籍する児童生徒に対して丁寧に説明してまいります。
幡谷委員	特別支援学校のバスが来て、お母様たちが一生懸命手を振られている姿を毎朝拝見するものですから、それぞれ遠くの学校へ行かれるとなると、不安が増えるのではないのかなと思ったものですから。皆さんに寄り添った対応をお願いいたします。
特別支援教育課長	土浦の混雑状況により石岡の方が近くなるといった部分もあります。面談した上でしっかり対応していきたいと思います。
幡谷委員	もう1つ、教室不足ということでもありますけれども、教員の皆さんの数は充足されているのでしょうか。先生の皆さんの負担についても配慮をお願いいたします。
特別支援教育課長	はい。こちらは学級数に応じた国の基準に基づき、適正に配置しております。
審議結果	可決

## (2) 非公開審議

発言者	発言内容
<b>【第21号議案】</b>	
	令和6年度（令和5年度対象）教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について
教育企画室長	資料（非公開）に基づき説明 (非公開審議の審議内容及び資料は公開されません。)
審議結果	可決

発言者	発言内容
<b>【第22号議案】</b>	
	茨城県県立学校設置条例の一部を改正する条例案に対する意見について

高校教育課長	資料（非公開）に基づき説明 (非公開審議の審議内容及び資料は公開されません。)
審議結果	可決

発言者	発言内容
<b>【第23号議案】</b> 令和7年度使用県立高等学校、県立中等教育学校、県立中学校及び県立特別支援学校教科用図書採択について	
高校教育課長・ 特別支援教育課長	資料（非公開）に基づき説明 (非公開審議の審議内容及び資料は公開されません。)
審議結果	可決

発言者	発言内容
<b>【第24号議案】</b> 教育委員会における人事について	
総務企画部長	資料（非公開）に基づき説明 (非公開審議の審議内容及び資料は公開されません。)
審議結果	可決

### 3 閉会

教育長が閉会を宣言した。